

おいせい



- 1面 24年度下水道サポーター活動
- 2面 下水道関連施設見学会
- 3面 下水道関連施設見学会
- 4面 ご挨拶・局長紹介

編集・発行 広島市下水道局経営企画課
サポーター会員数/ 82人 平成25年2月1日現在



24年度下水道サポーターの活動

小学校出前講座を始め、ふれあいフェアや打ち水大作戦など、24年度は延べ285人の下水道サポーターの皆さまにご支援をいただきました。夏の暑い日も、降りしきる雨の日も、たくさんのご協力をいただき、本当にありがとうございました。

下水道サポーター 24年度活動報告

※青字の数字は延べ人数

活動項目	活動内容	参加人数	実施日
小学校出前講座	出前講座実施70校中、55校の小学校で講座のサポート	83名	5月7日~11月13日
打ち水大作戦	打ち水実施7か所中、6か所の会場で打ち水のサポート	19名	7月19日~8月11日
下水道ふれあいフェア	工作コーナー、フロッタージュ、ヨーヨー釣り 他	24名	9月9日
施設見学会	西部汚泥燃料化施設、JP竹原火力発電所の見学	36名	11月16日
23年度サポーター総会	活動報告、委員の改選、規約改正など...	39名	4月11日
運営委員会	21名の運営委員により、サポーターの活動について協議	60名	5/15・8/23・10/30・1/22
下水道ビジョン意見交換会	広島市下水道ビジョン（H24.12改定）について	13名	10月30日
その他（汚泥肥料袋詰め）	ふれあいフェアで配布する肥料の袋詰め作業	11名	8月29日

ごあいさつ

街並みを歩いていると、木々や花そして吹き遊ぶ風がいつも私に季節を感じさせてくれます。休日時間の許す限り歩くその度に、橋の欄干越しに見える川底が随分ときれいになったことに驚かされます。

これも下水道が普及した成果、下水道サポーターの皆さまを始めとする多くの下水道スタッフのおかげと一人思っています。日頃の皆さまの広報啓発活動に心より感謝申し上げます。

経営企画課 課長 藤原 直隆

平素よりサポーター協議会の諸活動に参加、協力いただき感謝申し上げます。お陰様で年々内容が充実してきておりますが、さらにStepupしたものを目指したいと思います。

私は運営委員会、研修会を始め、諸活動の過程でワイワイガヤガヤと話し、その中で問題点を見つけ、独創性のある問題解決への道に迷うことができるのではと思います。今後、共に興味と関心を持ち、積極的に諸活動に参加頂くことをお願いし、挨拶とさせていただきます。

サポーター協議会 会長 沖田 稔

下水道出前講座とサポーター協議会を担当しては5年になります。この間、皆様には出前講座やイベントの支援をしていただきありがとうございます。小学校の出前講座はサポーターの支援体制が定着し、実施校も倍増しました。打ち水やふれあいフェアなどのイベント、施設見学会等も多数参加していただき盛況でした。ただ、サポーター制度のあり方についてはいろいろなご意見があり、まだ、改善の余地がありそうです。サポーター養成講座の受講者が減っているのも気がかりです。全国に類を見ない広島市の下水道サポーター制度ですが、今後さらに充実していきたい、皆様にとって楽しくやりのあるものになることを願ってやみません。

経営企画課 杉原 一

下水道局長紹介

片平 靖

Katahira Yasushi

24年4月に下水道局長に就任しました!



- 【生年月日】 年9月1日
- 【血液型】 A型
- 【出身地】 広島県呉市
- 【趣味】 仕事一筋♪只今趣味探し真っ最中♪
- 【愛読書】 ミステリー・詩集・科学書・エッセイ
- 【80才の夢】 91才の親父のように元気でいること
- 【心がけていること】 普通に生きる
- 【サポーターの皆様へ一言】 感謝!!

あとがき

22年度からサポーター通信の編集を担当させていただき、年1回の発行を目指していましたが、23年度は発行できず、申し訳ありませんでした。今回、活動風景(1ページ)の写真を選ぶのに、様々な場面、どの写真もサポーターの皆さまとても生き生きと写っていて、全部の写真を使いたいと思っていました。また、見学会の感想を読んでいると、感動の一日だったことがよく伝わりました。この通信を通して、活動になかなか参加できないサポーターの皆さまにも、その様子を知っていただければ幸いです。

重田和恵

下水道関連施設サポーター見学会 11月16日、下水道サポーターの皆さんで、西部下水汚泥燃料化施設及びJP竹原火力発電所の見学にいきました。



西部下水汚泥燃料化施設は立派な施設で、人間のすごさを感じています。竹原の町も少しの時間でしたが散歩することができ、大変良かったです。竹原火力発電所も勉強になりました。上水道、下水道、電気など環境、エコに気をつけて生活をしていきます。



個人では絶対に見られなかった施設を見学できて最高な一日でした。素晴らしいスタッフの皆様、施設の職員の方、そこで働いていらっしゃる優れた人材のおかげで、日常を送ることができていると改めて痛感しました。



私たちの下水から火力発電の燃料ができる(再利用されている)つながりが分かりました。燃料を作る時に出るダイオキシンが850℃で分解されることもびっくりしました。汚泥が燃料のペレットになる様子も分かりました。



たけはら道の駅※昼食

お天気に恵まれ、行楽気分でもらいました。普段目にする事のない2つの施設を見学できてよかったです。何気なく使っている水、電気も、いろいろな人々の努力で支えられていることを知りました。ありがとうございました。

「百聞は一見にしかず」と申しますが、実際に見学をさせて頂きとても参考になりました。作られる大切なエネルギー、下水道の副産物のバイオコール利用は今後必要だと思います。ありがとうございました。

下水汚泥を原料として炭化燃料を製造し、火力発電所の燃料として利用することで、石炭の60%程度(の熱量で)有効利用できることが認識できました。来年度は、セメント会社(下水汚泥使用)の現地視察をお願いしたい。

今回の施設見学は大変勉強になりました。下水処理施設でできた副産物が火力発電所のボイラーの燃料に使用されているのを初めて知りました。



今日はとても良い見学会でした。今後も実施を希望いたします。

西部下水汚泥燃料化施設の設備への投資額にビックリ。ゴミとして処分していた汚泥をペレット化し、バイオコールとして再生してJP竹原火力発電所に納め、電気を作る一助になっている状況に感動した。

下水汚泥の燃料化による有効活用についてよく分かりました。環境面からは非常に有効かつ必要な設備だと思いますが、経済面から見た費用対効果という面ではあまり期待できないと思いました。今日は最新設備を見学でき、本当に有意義な一日でした。



西部下水汚泥燃料化施設



JP竹原火力発電所※屋上からの風景



今日は初めて見学会に参加させていただきました。自己紹介を聞いて、(サポーターの)みなさんのボランティア活動の多いのにびっくりしました。竹原火力発電所は初めて見学しましたが、大変勉強になりました。



JP竹原火力発電所ジオラマ



西部下水汚泥燃料化施設は最新の知見で作られていると感じました。下水汚泥の減容と燃料化が一步進んだことは大変うれしいことです。竹原火力発電所は環境整備コスト、維持について瀬戸内海の海を汚染しないために相当な労力を入れていらっしゃることに感動しました。